

II. 第20回アジア競技大会(日本/名古屋)

【選考大会】(計4日間)

- ・体操天皇杯第80回全日本体操個人総合選手権(以下、全日本個人。) 予選・決勝
 - ー 予選上位30名が決勝へ進出
 - ー 決勝終了後、上位24名がNHK杯へ進出
 - ー 全日本個人2日間の合計得点を1/2にし、NHK杯の持ち点とする
- ・第65回NHK杯体操(以下、NHK杯。) 1日目・2日目
 - ー 1日目、2日目ともに全日本個人決勝進出者24名が出場
 - ー 全日本個人による持ち点に、NHK杯2日間の合計得点を合算して順位を決定

【代表選手選出方法】(計5名) ※国籍・年齢等の参加条件を満たす選手。

- ・代表① 個人総合による選出者(3名)
 - ー NHK杯上位3名
- ・代表② チーム貢献得点による選出者(2名)
 - ー NHK杯出場者のうち、代表①(個人総合選出者3名)との組み合わせでチーム得点(下記参照。)が最も高くなる選手
 - ー チーム貢献得点による選出者が1名のみ場合は代表①の次点者
 - ー チーム貢献得点による選出者がいない場合は代表①次点者2名

【チーム得点算出方法】

- ・代表①の得点：選考大会4試合のうち、各種目上位2試合の平均
- ・代表②の得点：同4試合のうち、各種目上位3試合の平均
 - ー それぞれ上記の得点を採用し、各種目ベスト3を算出

【タイブレーク規定】

- ・各選考大会順位
FIGタイブレークルールに従う。
- ・代表①選出順位：個人総合得点を対象として、A~Cの順に順位を決定
 - A：4試合のうち上位3試合合計得点が高い選手
 - B：同、上位2試合合計得点が高い選手
 - C：4試合のうち最高得点が高い選手
- ・代表②選出順位：チーム貢献得点を対象として、A~Cの順に順位を決定
 - A：4試合のうち上位2試合の平均得点が高い選手
 - B：4試合のうち最高得点が高い選手
 - C：NHK杯個人総合得点が高い選手

【補欠選手】

- ・補欠① 個人総合次点者（帯同補欠）
- ・補欠② チーム貢献得点次点者（国内補欠）
 - － 代表②の次点者がいない場合は補欠①の次点者（個人総合次点者）を選出。

【交代規定】

- ・代表①が欠場する場合は 補欠①と交代
- ・代表②が欠場する場合は 補欠②と交代
 - － 代表②が個人総合による選出者の場合は、補欠①と交代
 - － 補欠②が個人総合による選出者の場合は補欠①と交代

【その他】

- ・代表選手に怪我やコンディション不良が発生した場合、補欠選手と入れ替える場合がある。
その際は女子体操強化本部長の提案をもとに、選手選考会議で決定する。
- ・上記選考方法で順位が確定しない場合は、強化本部長の提案により選手選考会議で決定する。

以上。